

かがやき

令和4年 3月 14日(月)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 19

～いつか来た道。いつか行く道。「旅路」は続く～

3月の日差しが暖かさを増してきました。揺れ動くこの数年間の世の中の混乱と今の世界情勢。しかし、季節はめぐり、また春はやってきました。暖くなる気候は生命の息吹を私たちに自然と感じさせてくれます。(花粉症は辛いですが。)
「生命」の尊さを例年よりさらに強く感じる春です。

高学年グループの子たちと自分を振り返る話をしています。良いことも悪いこともあった小学校生活。その中でどのように自分が成長したのか。それぞれに感じることもあるようです。今の6年生には「あのときは～だった。」でも、いろいろな人に応援され、自分が自分なりに頑張り、次の路に進んでいくことを少しだけ素直に話したり聞けたりするようになってきたことを感じます。藤井風さんの楽曲に「旅路」という歌があります。その歌詞の中には以下の一節があります。

「あの日のことは 忘れてね 幼すぎて 知らなかった 恥ずかしくて 消えたいけど もう大丈夫 旅路は続く♪
僕らはまだ先の長い旅の途中で 誰かを 愛したり 忘れたり いろいろあるけど いつの間にかこの日さえも懐かしんで 全てを笑うだろう 全てを愛するだろう♪」

幼さもあり、自分のことがわからないこともあり。でも、もう大丈夫。そう思えることが少しでも自分の中にあるとしたら本当に実りのある「成長」することができた小学校生活になるのではないかと思います。それぞれが自分の進路に向けて次の旅路の準備をしています。6年生にとって「小学校卒業」はもうすぐそこですね。あと少し小学校の空気を思いっきり吸ってほしいと感じる今日この頃です。

～藤子・F・不二雄先生からのメッセージ「45年後・・・」立ち直る力～

かがやきの指導の中で定期的に子供たちに話す「3R」という言葉があります。これは「リカバー(回復・復帰する・取り戻す)・トライ(もう一度試みる・再挑戦する)・レジリエンス(復元力・回復力・立ち直る)goo 国語辞書」の三つ頭文字をとった標語です。指導の中では「自分はくじけやすいと思う？」子どもに質問しながら話をしていました。

その中の「立ち直る」をテーマにしたドラえもん作品「45年後・・・」というものがあって子供たちにも紹介しました。ある日のび太のもとに見知らぬ初老の男性がやってきます。怪しがるのび太にその男性は「45年後の君だよ」と正体を明かします。「え～こんなにオジンになるの！！」とびっくりするのび太。訳を聞くと昔の自分と入れ替わって子供時代をもう一度体験したいとのこと。「入れ替わりロープ」を使って子ども時代ののび太と入れ替わります。懐かしい子供時代を体験する45年後ののび太。「僕は大人になるまでにちゃんとやれてたの？」といぶかしがる子供時代ののび太。ひとしきり遊んで未来に帰る45年後ののび太は「これからも君は何度もつまづくけど、そのたびに乗り越えていく力をちゃんともっているよ」と言い残します。その言葉を受けて今日は自分一人の力で宿題に向かう子ども時代ののび太の姿。ドラえもんが「がんばれ！」と声をかけ話が終わります。指導の中ではつまづいたり、くじけたりすることは悪いことではないこと。自分のやり方でどのように立ち直っていくかが大事であることを話しています。ちなみにこの作品がコロコロコミックに掲載されたのは1985年9月。私たち大人ものび太と同じであったことを加えて子供たちに話しました。

お知らせ

ご家庭に使わなくなった体操着・うわばきがありましたらかがやきに寄付していただけると助かります。「忘れ物⇒相談⇒貸出」の指導に使います。